

2.4 応用生物科学専攻

1. 専攻の概要

応用生物科学専攻は、1996年に農林生物学専攻（1953年設置）、水産学専攻（1953年設置）、畜産学専攻（1976年設置）及び熱帯農学専攻（1981年設置）の一部を統合して設置された。

本専攻では、陸地ならびに海洋に生息する微生物から動植物にわたる多様な生物を対象に、それらの利用・保存・創出を目的として、分子レベルから集団レベルに至る広い視点から研究・教育を行っている。本専攻は17分野からなり、各分野はこれらの各種有用生物について得られた科学的知見を農業、畜産業、水産業に活用するための研究・教育を展開している。

本専攻には修士課程119名（留学生6名を含む）、博士課程54名（留学生9名を含む）の学生が在学している。

2. 学生数

大学院修士課程 1 回生	50 名
大学院修士課程 2 回生	69 名
大学院博士課程	54 名